

広島市・廿日市市における地域公共交通活性化・再生総合事業 (広島市・廿日市市地域公共交通利用円滑化協議会)

事業期間
20～21年度

広島市・廿日市市では、渋滞緩和、CO2削減、広域連携等を推進する観点から、シームレスな公共交通ネットワークの構築と公共交通機関の利便性向上を図ることを目的に、電車・アストラムライン・バス・船舶・ロープウェー共通のICカードシステムを整備し、乗降時間や改札時間短縮による速達性や定時性の確保、乗継ぎ利便性の向上を推進。

【広島市・廿日市市地域公共交通利用円滑化協議会】

広島市、廿日市市、広島県バス協会、西日本旅客鉄道(株)、広島電鉄(株)、広島高速交通(株)、瀬戸内海汽船(株)、JR西日本宮島フェリー(株)、宮島松大汽船(株)、広島観光開発(株)、(以下オブザーバー)広島県、中国運輸局

事業の概要(21年度)

○広島市・廿日市市交通系共通ICカード整備事業 (総事業費487百万円)

平成20年度に引き続き、広島電鉄宮島線、アストラムライン、ロープウェー、船舶に先行導入しているバスと共通のICカードシステムを整備(アストラムラインは平成21年8月8日、広島電鉄宮島線、宮島ロープウェー、宮島航路は平成21年10月17日、広島松山航路は平成21年10月31日サービス開始)

①広島電鉄宮島線

②アストラムライン

③ロープウェー ④船舶

【広島高速交通(アストラムライン)路線図】

【広島電鉄路線図】

【平成21年度整備箇所】

- ①広島電鉄宮島線
- ②アストラムライン
- ③宮島ロープウェー
- ④宮島航路
- ⑤広島松山航路

至:松山

【PASPYの概要】

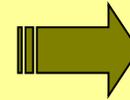
前払い式ICカード サイバネ規格
 初期発売額2,000円[うちデポジット(預かり保証金)500円、SF(利用可能額)1,500円]SFは最大20,000円まで積み増し可能
 PASPY割引(最大10%引き) 乗継ぎ割引(バス・バス、電車・バス)

21年度
導入
への
プロセス

広島市・廿日市市の幅広いエリアにおいて、シームレスな公共交通ネットワークの構築を図るため、「第3回広島市・廿日市市地域公共交通利用円滑化協議会(平成21年2月13日)」において宮島ロープウェー、宮島航路、広島松山航路にICカードシステムを整備することを決定

【平成21年度事業】

- ◇広島県内のバスに導入
- ◆広島電鉄宮島線に導入
- ◆アストラムラインに導入
- ◆宮島ロープウェーに導入
- ◆宮島航路・広島松山航路に導入
- ◇多機能カードの発行(ひろぎんPASPY等)



広島県内の交通網を網羅するICカードに進化

◆は総合事業を活用

21年度
事業の
効果

利便性の向上(PASPY)

利用者の7.7割が満足
～「スムーズな乗降」「チャージで繰り返し使用できる」「財布などに入れたままで利用可能」などの点において高い評価～

産廃処理減量

磁気カードの使用停止により、約3.4t/年の減量見込み
～産業廃棄物の削減による環境保全への貢献～

速達性の向上

広島電鉄宮島線の主要駅において、2秒(10人当たり)の乗降時間短縮
～乗降時間の短縮により、電車の運行時間の短縮～

シームレスな広域公共交通体系

連携したJR西日本「ICOCA」利用者が1ヶ月5万件にアップ
～ICカードのさらなる整備によりPASPYエリア内ICOCA利用者が1ヶ月3.5万件増加し、公共交通利用の広域的なシームレス化がさらに進展～

次年度
以降

道路と公共交通のバランスを考慮しつつ
軸足を公共交通へシフトしていく

商店街等加盟店や連携先拡大等で更に利便性アップ
～長引く経済情勢の悪化等により輸送人員は減少傾向にあり、PASPYのさらなる活用等による利用促進策の展開が課題～
(展開事例)「サンフレッチェPASPY」の発行
公共交通機関とスタジアムの入場が1枚のカードで利用可能

ノーマイカーデー運動

～毎月22日は、“ひとりひとりが環境に優しい交通行動を”と自動車利用に対する市民・企業等の意識や習慣を変えていくことを呼びかけ、さらなる公共交通の利用を推進～

パークアンドライドの推進による公共交通の利用促進

～民間駐車場活用や駐車場空き情報提供により交通渋滞の緩和、環境配慮とともに公共交通の利用促進を推進～